

資源リサイクル・廃棄物情報

鉄スクラップ・スチール缶

鉄スクラップ持込み問屋買値 (12月18日現在)(千円/ト)

	東 京		名 古 屋		大 阪	
	当 月	前 月	当 月	前 月	当 月	前 月
ギロチン材 (A)	13.5	12.0	12.5	11.5	17.0	15.5
ギロチン材 (B)	12.5	11.0	10.5	9.5	13.5	12.0
ギロチン材 (C)	8.5	7.0	8.0	7.0	13.0	11.5
スチール缶(ミニプレス)	8.5	7.0	6.0	5.0	10.0	8.5
ペール缶・一斗缶等	8.0	6.5	4.0	3.0	5.0	3.5
廃 車 ガ ラ	11.0	9.5	3.5	2.5	9.5	8.0
廃 車 ガ ラ プ レ ス	12.5	11.0	5.5	4.5	11.0	9.5

メーカー持込み価格 (代納価格、12月18日現在) (千円/ト)

H	1	20.5	19.0	22.0	21.0	23.0	21.5
H	2	19.5	18.0	21.5	20.5	20.5	19.0
H	3	17.0	15.5	19.5	18.5	19.5	18.0
缶 プ レ ス C		17.5	16.0	14.0	13.0	17.0	15.5
シュレ ッ ダ ー A		20.5	19.0	16.0	15.0	21.5	20.0
シュレ ッ ダ ー B		18.5	17.0	14.5	13.5	19.5	18.0

スチール缶 (Cプレス) 価格動向 (関東)
(関東地区電炉工場渡し トン当たり千円・現金または手形による)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
平成23年	27.8	29.2	28.0	30.0	27.0	26.0	26.5	25.5	27.3	21.5	18.8	23.7	25.9
24年	22.7	22.8	24.0	23.3	21.8	17.2	17.2	18.4	16.6	14.0	16.6	18.6	19.4
25年	21.6	24.3	26.0	25.2	24.8	24.2	23.7	25.9	27.9	28.4	31.2	31.2	26.2
26年	29.0	27.2	22.0	25.1	25.1	25.8	26.8	26.8	28.0	24.8	23.7	22.4	25.6
27年	21.3	19.4	18.1	19.3	20.1	21.0	17.8	16.9	12.2	9.6	9.2	10.0	16.2
28年	9.9	10.5	12.1	17.6	17.5	13.5	12.5	13.8	14.4	13.8	17.5	20.9	14.5
29年	21.7	20.9	24.3	22.3	18.5	20.4	22.2	25.3	26.9	25.6	27.3	29.7	23.8
30年	31.0	30.4	31.3	27.6	28.8	29.5	29.0	30.5	30.8	31.2	27.4	25.1	29.4
令和元年	24.4	26.0	28.0	25.4	23.9	22.4	20.8	21.4	18.9	17.5	17.9	19.2	22.2

※上表は関東地区における缶プレスC規格の主要電炉工場買値平均推移で、供給数量が月間50〜100ト以上で安定しているものの購入価格。
※令和元年12月価格は14日現在の平均価格 (次号に確報値を掲載します)。

鉄スクラップ
スチール缶

11月中旬に底入れ反発に転じた国内鉄スクラップ市況は12月に入っても続伸した。減産下で鉄スクラップ需要量は減少しているものの、海外・輸出市場が好調なことに加え、市中スクラップの発生・荷動きが低迷し国内需給が引き締まったことが相場を押し上げた。

関東電炉のスチール缶スクラップ (Cプレス) の2019年11月の平均購入価格は、前月比400円高、前年同月比9,500円安の1トあたり1万7900円だった。12月は第2週末までの平均で1万9200円へと上伸している。

価格を公表している東京製鉄のCプレス購入価格は、田原工場が2万3400円 (12月12日改定時点)、岡山工場が2万1900円 (同)、九州工場が2万3400円 (同)、宇都宮工場が2万5200円 (同)、高松鉄鋼センターが2万900円 (同) だった。

産構審・中環審が小型家電リサイクルで合同会合
回収目標は引き続き14万ト目指す

産構審・小型家電リサイクルワーキンググループと中環審小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会は12月10日、経済産業省の地下講堂で合同会合を開催した。

小型家電リサイクル制度の年間回収量は、2018年度の目標に掲げた14万トを達成できていない。2018年度の実績値の約10万トを踏まえ、現時点での目標値の引き上げは適当でないと判断、引き続き14万トの目標を目指すとする報告書案をまとめた。

また、中国の輸入禁止の影響による廃プラスチック類の処分費用の上昇、資源価格の変動、リチウムイオン電池含有製品による発火リスクの顕在化といった外的要因による課題へも対処する必要があるとした。委員からはリチウムイオン電池の回収に関する意見が多く寄せられ、適切な分別を消費者に分かりやすく訴求するための取り組みを進める方向性で一致した。

【日刊市況通信 12月20日掲載】



鉄・非鉄スクラップのすべてMRM

メタル・リサイクル・マンスリー

特集号含み年間12回発行

27,500円(年間・消費税含む)

大阪本社 TEL.06(6631)5651 番(代)
FAX.06(6631)5725
東京本社 TEL.03(3864)6021 番(代)
FAX.03(3864)6024
名古屋支社 TEL.052(414)7255 番(代)
FAX.052(414)7266 番

スチール缶は、スチール缶や自動車やビル、家電製品など様々な鉄製品に生まれ変わります。

あれもこれも
スチール缶から

スチール缶リサイクル協会